

## 1 東村山市の紹介

東村山市は、東京都の北西部、荒川から多摩川にかけて広がる武蔵野台地のほぼ中央にあります。行政区画で言うと、北は狭山丘陵・柳瀬川によって所沢市に、東から南東は清瀬市、東久留米市、南は小平市、西は東大和市に接しています。

当市は、東西5.83km、南北3.09km、面積17.17km<sup>2</sup>、人口は8月1日現在、153,545人で、昭和39年4月に人口6万6千人で東京都13番目の市として第1歩を踏み出しました。

市の花は、つつじ、市の木は、けやき、市の鳥は、ハクセキレイです。

市域には、西武鉄道の各線とJR武蔵野線が走り、道路は新青梅街道と府中街道がほぼ市の中心で交差しております。市内には鉄道の駅が9つあり、都心まで1時間足らずという交通利便性に優れております。

当市の成り立ちとして市内で最も古い遺跡は、日向遺跡、笹塚遺跡、運動公園遺跡などで、先土器時代の終末、今から1万数千年前のものです。

奈良・平安時代に入ると狭山丘陵に沿って流れる川沿いに、小さな集落が点在するようになります。

当市を南北に貫いて、武蔵国府と上野国府を結ぶ官道が通り、833年には、旅人の救護施設「悲田処」が設けられました。

この頃の遺跡としては、多摩湖町から出土した2m余りの瓦製の五重塔があり、東京国立博物館に保管展示されております。

市内には、武蔵野の面影を残す雑木林や田園風景がひろがり、映画「となりのトトロ」は八国山緑地や新山手病院がモデルとされています。

八国山緑地は、狭山丘陵の東端にある標高89mの山で、江戸時代から將軍塚・元弘の板碑などの史蹟として知られております。八カ国の山々が見渡せることから名がつけられました。

新東京百景の一つ、花菖蒲の北山公園は、春のれんげに始まり、カキツバタ、花菖蒲、ハス、ヒガンバナなどが訪れるかたの目を引いております。

特に北山公園には、170種類、10万本毎年の花菖蒲が咲き誇り、毎年6月には菖蒲祭りが開催され、市内外から多くのお客様がお見えになります。

また、多摩地区唯一の国宝建造物「正福寺千体地藏堂」は、鎌倉の円覚寺舍利殿とほぼ同一の規模、様式で禅宗様（唐様）建築の代表的遺構です。室町時

代の、1407年の建立とされています。

当市としては、自然と歴史遺産を守りながら、都市としての機能性や安全性を高め、子どもから高齢者まで市民誰もが安心して生き生きと暮らせる生活充実都市として「人と人 人とみどりが響きあい 笑顔あふれる 東村山」を目指しております。

## 2 東日本大震災での震災対応と被災地支援

東日本大震災及び計画停電に対する市の取り組み（発災より2週間）

発災日時：平成23年3月11日 14時46分。震源地は三陸沖。  
震源の深さは約10km 震源の規模マグニチュード9.0  
震度7 宮城県北部  
震度6強 宮城県南部、中部、福島県中通り、茨城県北部他

### 1、市内の被害状況

|                |     |
|----------------|-----|
| 水道管破裂等         | 6件  |
| ブロック・大谷石倒壊     | 7件  |
| 火災被害（変圧器のショート） | 1件  |
| 屋根瓦、壁等の被害      | 3件  |
| 道路被害           | 6件  |
| 街路灯被害          | 2件  |
| その他（受水槽、戸井）    | 2件  |
| 合計             | 27件 |

#### 3月11日

東村山市においては、14時47分頃 大きな揺れが始まり、防災行政無線より、「大きな地震が発生しました。」というアナウンスが放送された。

震度計は5弱を感知。

14時50分：市庁舎において、防災安全課職員が中心となり避難誘導を行い、市民、議員、職員等本庁舎及びいきいきプラザにいた全ての人を中庭へ避難させた。

15時11分：東村山市消防団へ参集を呼びかけ

15時25分：東村山市災害対策本部をマルチメディアホールに設置

15時35分：市民より水道管の水漏れ等の連絡あり

16時07分：市内の被害状況の現場確認を実施

- : 消防団ポンプ車にて市内巡回開始（被害状況の確認）
- : 市の施設の安否確認（各施設からの報告）  
⇒（被害なしの報告を受ける）
- : 市内全域の安否確認（全ての部に対し、各町を振分て実施）
- 17時50分：各所管・警察・消防署・消防団からの被害状況報告  
⇒（死亡者、けが人は無しの報告）
- 18時05分：中央公民館より、西武鉄道が運休のため帰宅困難者6名が発生、との連絡あり⇒対策施設として、いきいきプラザ内健康指導室を解放
- 18時11分 各駅に帰宅困難者の有無の確認開始
- 19時20分 帰宅困難者数
  - 秋津駅 100名／新秋津駅 400名
  - 東村山駅東口 80名、西口 70名
  - 久米川駅南口 60名、北口 30名
  - その他の駅 若干名
  - 合計 約740名
- 19時25分 保育園等児童避難状況（児童のみ）  
市立保育園・児童館 70名
- 20時00分・秋津公民館、秋水園ふれあいセンターの解放（職員10名配置）
  - ・サンパルネ解放（職員10名配置）
  - ・栄町ふれあいセンター解放（職員10名配置）
- 帰宅困難者対策施設宿泊者数内訳（毛布、飲料水、非常食の提供）
  - 秋水園ふれあいセンター 55名
  - サンパルネ 19名
  - いきいきプラザ健康指導室 6名
  - 合計 80名

（最大時124名 20:55時点）

3月12日

午前1時過ぎ 保育園児童避難状況 0人（保護者への引き渡し完了）  
（最大時の園児人数：市立保育園70名、私立12名）

3月11日の職員等参集状況：消防団 94名・消防署 169名  
市職員 約200名

3月13日

1) 計画停電

東京電力が3月13日の記者会見で、14日から計画停電を実施すると発表。

13日、市では、直ちに「東村山市地震コールセンター」を設置。  
常時8名程度の職員を配置。

東京電力ホームページ（以下東電 HP とする。）にある計画停電グループ分けの記載内容が、東京電力立川支社の現場担当者とのすり合わせで、データの入力誤りであることが判明した。

**3月14日** 計画停電未実施（朝から鉄道が運休との連絡⇒断続的運休）。グループ把握のための実施調査（青葉町内の市境地区）。青葉町にてチラシ3,500枚の個別配布を実施。東電 HP と異なるグループ70世帯には個別説明を実施。

**3月15日** 計画停電未実施（鉄道は運休）グループの把握のための実施調査（本町、栄町、野口町）東電 HP に誤りがあったため、チラシ5,000枚の配布（秋津町、久米川町内境界地域）

**3月16日** 計画停電実施（18時45分から20時45分）市内ほぼ全域が停電となった。広報車、防災行政無線にて周知。

### 「夜間計画停電待機場所の開設」

3月14日

1通のメールが防災安全課に入る。「生後間もない子どもがいます。夜計画停電になったら、夫も仕事の帰りが遅く、暖房もなく、電気もない暗い部屋では、不安でしかたがない。どこか公民館などで暖かいところに停電時間中過ごせませんか？」

また、市長にも「高齢者の一人暮らしですが、停電になったら不安です」との声が入った。

3月16日

市内15か所に「夜間計画停電待機場所」を設置。投光機（照明）や発電機、石油ストーブを各所管や自主防災組織から集めた。

また、周知については、市のホームページ、民生委員からの告知、市長のツイッターなどで周知し、延66名の市民の方が利用した。

※計画停電が実施されてから、この間電話での問い合わせが、多い日で一日千件を超え、メールでの問い合わせも数百件きており、回答が遅れる状況が続いた。

- 3月19日 ・ 市内新聞販売店に対し、チラシの配布を依頼。計画停電グループの周知と今後の停電予定時間を47,000世帯に新聞折込みにて配布（読売、朝日、毎日、産経、東京新聞）
- ・その後、市内の第3グループでも17日以降に停電にならなかった地域は今後停電しないことが判明。（鉄道用変電所を経由していることから）
  - ・16日と18日には東京電力立川支社、及び西武鉄道に対し、市長より鉄道の運行拡大と優先的な電力の供給を要請。
- 3月24日 市内燃料組合やガソリンスタンドに対し病院や高齢者施設への自家発電機燃料、緊急車両用燃料の優先供給を要請
- 3月25日 再度東京電力立川支社へ計画停電の偏り不均衡の是正の要請を行った。  
東村山浄水場に対しては水道水の放射能測定及び公表を要請した。
- ・地震コールセンターの設置（午前6時～午後11時）  
総合計問い合わせ件数 8,858件  
内容：計画停電について（87%）、防災行政無線について（6%）

### 3 被災地への支援状況

- ①人的支援について：（8月11日現在）
- ・職員派遣 岩手県：9名。宮城県：3名。福島県：1名
- ②義援金について
- ・市役所及び公共施設に義援金箱を設置。
  - ・菖蒲祭りで被災地産品や絵ハガキ等を販売。売上金を義援金へ。
  - ・義援金額 25,836,864円（8月19日現在）
- ③支援物資：クラッカー、紙おむつ（大人・子ども用）、生理用品を市内運送業者に依頼し被災地へ搬送。
- ④避難者への対応について
- ・避難者に一時避難施設の提供（2施設）。駐車場の提供
  - ・避難者対象の「日帰り入浴ツアー」を実施
  - ・サポート自転車を1世帯あたり2台無償提供。
  - ・東日本大震災避難者相談室を開設
    - ・住宅案内：都営住宅、公社住宅、民間住宅等入居相談。

- ・ 仮払補償金（福島原子力補償）の案内。
  - ・ 被災者義援金の申請等取次。罹災証明書等の取次。
  - ・ 就労相談・支援（市では避難者の方1名を臨時職員として採用）
  - ・ 全国避難者情報システムへの受付業務。
- ⑤ボランティアへの支援について
- ・ 被災地派遣ボランティアの「災害派遣等従事車両」証明書の発行  
（8月19日現在：48件）